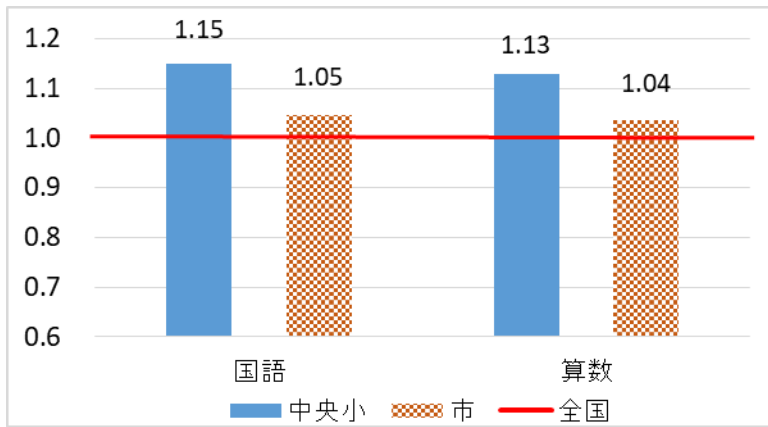


# 令和3年度 全国学力・学習状況調査について

第一中学校区 中央小学校

第6学年

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



○調査結果についての分析、今後の改善方策

## 【国語】

「思考・判断・表現」の「読むこと」領域の「目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける」と「書くこと」領域の「目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」記述式問題において全国平均を大きく上回った。引き続き自分の考えを仲間と交流し、伝えたい内容を整理して書く学習活動を充実させていく。

## 【算数】

「知識及び技能」の「図形」領域の「直角三角形の面積を求める式と答えを書く」問題や「思考・判断・表現」の「道のり」、「平行四辺形の面積」、「割合」の記述式問題において全国平均を大きく上回った。引き続き基礎基本の定着を図るとともに、筋道立てて物事を考える過程を大切にさせ、書く能力を確実に育てていく。

## 【質問紙調査】

「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」の質問への肯定的な回答が全国平均を上回っている。「自分には、よいところがあると思いますか」の質問への肯定的な回答に増加傾向が見られたが、全国平均に比較して少し低い。道徳、学級活動や行事などの係活動などで自分の良さに気づき、自己有用感を高めていけるよう進めていく。

○学力向上の取組

## 【中学校区】

第一中学校区「街の学校スクールネットワーク」として「授業改善」をテーマに授業力向上のための「聴いて、考えて、つなげる」授業の授業実践に取り組んでいる。具体的には発達段階に応じた「あたたかい聴き方」と「やさしい話し方」のスキルアップを目標にしており、「ノート指導」を中心とした「書く力」の育成にも努めている。

## 【学校】

自分と他人の良さに気づき、尊重できる相互理解・多様性理解などの人権教育に取り組み、学び合う集団を育成している。その中で、子どもが仲間と考えを交流しながら主体的に学ぶ姿の実現を目指して校内研究を行い、教員の授業力向上に努めている。算数科では少人数指導による個に応じた指導を実施している。